

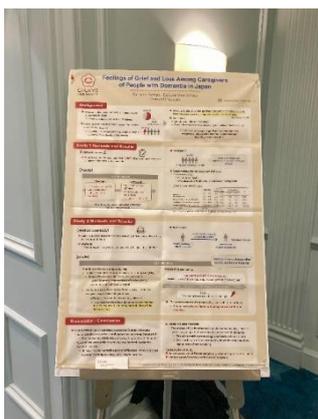
国際学会 体験記 (1)

2024年4月10日から13日にかけて、アメリカのヒューストンで開催された Association for Death Education and Counseling (ADEC) の 45th Annual Conference に参加し、ポスター発表を行いました。ADEC への参加はもちろん、国際学会への参加が初めて、かつ 1 人での参加だったため初めは緊張しましたが、とても充実した学会参加となりました。



大会のメイン会場の様子

ADEC は、死生学、死別、死への準備教育、グリーフカウンセリングなどに関する学際的な専門組織です。心理学者、心理士、ソーシャルワーカー、教師、研究者、ホスピス職員、ボランティアなど、様々な領域で実践や研究を行っている会員が集います。領域を長年けん引してきた研究者も多く参加しており、対面でそうした研究者らの講演やワークショップを聴講できるということに感動を覚えました。



ポスター発表

また今回は、修士課程での研究の一部をポスター発表で発表を行いました。初めての英語でのポスター発表でとても緊張しましたが、コーヒープレイクと同じ時間帯での開催だったこともあり、リラックスした雰囲気での開催だったこともあり、他の研究者と議論をすることができました。日本の認知症の人の介護の状況に興味を持っていただけたり、他国での現状も伺ったりすることができました。

他にも大会を通して、海外の博士課程の院生と仲良くなったり、また自分の研究テーマと近い研究を行っている研究者とも議論ができ、コネクションを広げる機会にもなりました。他国の博士課程の院生が口頭発表している姿を見て、自分も頑張ろうと刺激を受けました。交流の際にも、右のように名札の下には自分に当てはまるリボンを選んで貼り付けることができ、“student”のリボンをつけておくと学生同士で話しかけやすくなったり、他の方からも学生なのねと話しかけていただけて、面白いシステムだと感じました。



大会の名札

初めての国際大会はとても充実したものになりました。今後もまた ADEC で発表できるよう、今後も努力していきたいと思えます。

国際学会 体験記 (2)

2024年6月3日から6日にかけて、タイのバンコクで開催された International Association for Suicide Prevention (IASP)の 11th Asia Pacific Conference に参加し、ポスター発表を行いました。今回は、指導教員の川島先生、川島ゼミ出身の古賀先生と一緒に参加しました。

IASP は自殺予防に関する国際学会で、今回の大会はアジア大会でしたが、会場には各国から参加者が集まっており、活気にあふれていました。



大会と一緒に参加した先生方と



発表の様子

今回の発表では、日本の介護者の自殺リスクに関する発表を行いました。ポスター発表で応募をしましたが、今大会では対面でのポスター発表セッションがなく、希望者のみ5分間の発表（ライトニングトーク）が可能という連絡がアクセプト時にありました。今回はそちらに応募し、ポスターの研究内容を発表しました。今まで国内大会、国際大会どちらもポスター発表の経験しかなかったため、5分とはいえ、初の英語での口頭発表ということでかなり緊張しました。当日はなんとか発表を終え、質問にも無事答えることができました。また、今大会でも国内外多くの研究者とも交流することができました。

今回の国際学会もとても充実し、刺激にあふれた大会参加となりました。2回の国際学会での発表・参加を通して、世界各地で自分の関心に近いテーマで研究している人がこれだけいるのだと実感できて感動するとともに、自分も頑張らねばと奮い立たされました。

今年度、2回も国際学会で旅費や参加費の心配なく発表することができたのは、心理学研究科の学会参加助成があったからこそ叶ったことです。深く感謝申し上げます。



会場で配布されたしおり